

- ▶ 約130以上の活火山を含む500以上の火山を有するインドネシアでは、度重なる噴火により人々の生活や経済に大きな被害をもたらしてきた。
- ▶ 今般、3火山（スメル火山、クルド火山・アグン火山）等を対象として、砂防施設の修繕・整備や非構造物対策などハード・ソフト両面の協力を実施することにより、火山噴火による被害からの復旧や災害リスクの削減を図り、それによって持続的な社会・経済の発展に寄与する。
- ▶ 本事業は、1970年代から続く日尼両国間の火山防災分野の支援をさらに推し進めるもの。

事業の概要

対象火山：3火山（スメル火山、クルド火山・アグン火山）等
実施事項：火山砂防マスタープラン作成、砂防施設の修繕・再建・新規建設
雨量レーダーの設置、防災意識向上支援等の非構造物対策

【参考】対象案件の限度額・供与条件

実施機関：インドネシア国 公共事業省 水資源総局
限度額：231億4,800万円
金利：優先条件1.6%（コンサルタント部分は年0.2%）
償還期間：30年（10年の据置期間を含む。）
調達条件：アンタイド

【参考】関連プロジェクト

ジャワ島東部及びバリ島火山防災に係る情報収集・確認調査（2024年3月完了）
スメル山緊急火山砂防事業計画プロジェクト【有償勘定技術支援】（2025年2月完了予定）

【参考】砂防技術センター（STC）

日本の砂防技術伝達と人材育成を主目的に1983年に日本の技プロ支援により砂防技術センターを開所。日本の専門家による技術指導を現在も継続している。
2024年5月以降、尼国の「センター・オブ・エクセレンス」構想の一部として、同センターを他国への技術普及を含む砂防分野の中核的研究・研修拠点に発展するための協力を行っている。

【参考】これまでの火山防災対策にかかる支援

- ・1977年 メラピ山火山防災基本計画（技術協力）
- ・1983年 スメル火山緊急改修事業（円借款）
- ・1984年 スメル火山砂防・水資源保全計画調査（技術協力）
- ・1991年 クルド火山緊急砂防事業（円借款）
- ・1995年 メラピ火山及びスメル火山防災事業（2）（円借款）
- ・2014年 メラピ山緊急防災事業（2）（円借款）

火山防災セクターローンの対象となる主な火山

